

夏休みの自由研究になる！ にんちしょう 認知症ってなあに？

たいけんがくしゅうかい

体験学習会のおしらせ

小学生
あつまれ！

日時：令和元年 8月9日（金）

10：00～12：00（開場9：45）

場所：北海道医療大学地域包括ケアセンター

北区あいの里2条6丁目2番1号 地図はうらにあります



車いすのった
ことある？



学習すること

1. おはなしをきこう！

認知症（にんちしょう）ってなんだろう？
げき、クイズ、紙しばい

2. チャレンジしてみよう！

- ・歩くってたいへんなの？
- ・うまく当たるかな？（わなげ、ボーリング）
- ・車いすにのってみよう など

持ちもの 飲みもの、書くもの

保護者向け体験もあり♪

- ・体組成測定
- ・骨密度測定
- ・血流測定

<介護・健康相談コーナー>

保護者の皆様も一緒
にお越し下さい♪♪

参加無料・事前申込不要

- ・当日直接会場にお越しください。
- ・体験ものですので、動きやすい服装でお越しください。
- ・駐車場を使用するため、お車での来場や病院駐車場の利用もお控えいただきますようご協力お願いします。



<問い合わせ>

札幌市北区第2地域包括支援センター

☎ 011-736-4165（担当/石川・田村）

◆主催：札幌市北区第2地域包括支援センター、北海道医療大学地域包括ケアセンター
◆協力：札幌市北区役所保健福祉部保健福祉課、札幌市北区社会福祉協議会、
札幌市北区介護予防センター茨戸、デイサービス白ゆり南あいの里

保護者の方へ

「認知症ってなあに？」体験学習会について

今回は、子ども向けの「認知症サポーター養成講座」と、高齢者の気持ちに少し近づけるような「高齢者疑似体験」を、札幌市北区第2地域包括支援センター（市から委託されている高齢者の総合相談窓口）と北海道医療大学地域包括ケアセンター、他協力機関で企画しました。

「認知症サポーター養成講座」

認知症サポーターは、「なにか特別なこと」をする人ではありません。ご自分ができる範囲で認知症の人や家族を応援していく人です。

認知症についての正しい知識を習得すること、それをお友達やご家族に伝えていくことも応援です。もし、道端やスーパーなどで認知症の人が困っているようなことがあったら、声をかけてみることでよいのです。

認知症の人と家族を応援するお子さまや大人が増えていくことは、皆さまも安心して暮らせるやさしいまちになることにつながります。

認知症サポーター養成講座は、国としての取り組みです。お住まいの地域や、職場、学校などで開催される1時間～1時間半の講座を受けることで認知症サポーターになることができます。講座を受けた人は、全国で1,100万人をこえています（平成31年3月31日現在）。

今回は子ども向けということで、北海道医療大学の学生が寸劇や紙芝居、クイズをしながら認知症のことを知ってもらおうと準備しています。

そして、受講頂いた皆様には認知症サポーターの印となるオレンジ色のブレスレット「オレンジリング」をお渡しします。

「高齢者の疑似体験」

お盆休みが近いので、おじいちゃん、おばあちゃんと会うお子さまも多いと思います。

ぼく(わたし)はもっと早く歩きたいのに、おじいちゃんはずいぶんゆっくりだな、おばあちゃんは買い物をするときにお財布からお金を出すが大変そうだな。でもなぜなんだろう？

ご高齢の方が感じていることをお子さまに体験してもらうことで、久しぶりに会うおじいちゃんやおばあちゃんとの関わりがかわるかもしれません。

